

## 福井市足羽山におけるミゾゴイ *Gorsachius goisagi* の初記録

出口 翔大\*

The First record of Japanese Night Heron *Gorsachius goisagi* in Mt. Asuwa, Fukui city.

Shota DEGUCHI\*

(要旨) 2019年4月25日18時4分頃、福井市足羽山の藤島神社の北東に位置する道路でミゾゴイ1羽を観察した。これまで足羽山において本種の記録はなく、本記録が足羽山におけるミゾゴイの初記録となった。

キーワード：4月、落葉広葉樹林、絶滅危惧種、藤島神社、渡り鳥

ミゾゴイ *Gorsachius goisagi* はペリカン目サギ科に属する渡り鳥で、主に日本でのみ繁殖し、中国南部や台湾、フィリピンなどで越冬するとされている(川名, 2012; 日本鳥学会, 2012)。世界における推定個体数は約1,000~2,500羽とされ(BirdLife International, 2016)、国際自然保護連合(IUCN)、環境省、福井県のレッドリストでは、それぞれ絶滅危惧IB類(Endangered: BirdLife International, 2016)、絶滅危惧II類(環境省2014)、県域絶滅危惧I類(福井県, 2016)とされている。本種は落葉広葉樹、針葉樹、常緑広葉樹などの林内の沢沿いを繁殖および採餌環境として利用するが(川名, 2012; 中村・中村, 1995)、福井県内における生息地または繁殖地は非常に限られている(福井県, 2016)。

福井市街地に孤立丘陵として残存する足羽山(標高116.4m)では、これまで約100種の鳥類が確認されているが(出口, 2018; 内山, 1990; 柳町, 2006; 2014; 出口 未発表 2019年12月14日時点)、ミゾゴイの記録はない。筆者は2019年4月に本種を1羽観察したので報告する。

日時：2019年4月25日18時4分頃

場所：足羽山 藤島神社北東 道路上

個体数：1

種を同定した根拠：本個体は、飛び立った際に長い頸およびふしよが目立ち、キジバト *Streptopelia orientalis* よりも大きく、形態が類似するゴイサギ *Nycticorax nycticorax* と比較するとやや小さかった。体上面や翼の上面は赤茶色で、頸の下面は汚白色、嘴は黒色で比較的長かった(図1)。これらの形態的特徴および林内という観察環境から該当する種はミゾゴイとズグロミゾゴイ *G. melanolophus* の2種に絞られた(真木・大西, 2000)。後者には暗色の冠羽があり、また

初列風切羽の先端が白いため飛翔時によく目立つ(叶内ほか, 1998; 真木・大西, 2010)。しかし本個体にはそれらの特徴が認められなかった(図1)。さらにズグロミゾゴイは北海道の利尻島や徳島県において過去に観察記録があるものの、国内では基本的に留鳥として八重山諸島に生息する(日本鳥学会, 2012)。したがって、これらの点から本個体はミゾゴイと判断された。なお、本種は雌雄同色とされており(真木・大西, 2000)、性別は不明であった。

本種は沢沿いの落葉広葉樹林を繁殖環境として利用するが、(川名, 2012; 中村・中村, 1995) 足羽山にはそのような環境がないこと、また、繁殖地では夕暮れから日没直後および日の出前になわばり誇示などのためと考えられる「ポウーポウー」と聞こえる声を発するが(環境省, 2016)、足羽山ではこの観察以降、そのような声を聞くことができなかったことから、本個体は渡りの途中に足羽山を中継地として利用したものと考えられる。足羽山はこのほか多くの渡り鳥に中継地として利用されている(出口, 2018; 柳町, 2014)。ミゾゴイは暗い林内を好むことから、(中村・中村, 1995) 常緑樹の大径木が残り、林内が比較的暗い藤島神社周辺で観察されたものと考えられる。近年、足羽山では山頂からの眺望改善を目的に樹木の伐採事業などが行われているが、足羽山は市民のレクリエーションの場であると同時に、ミゾゴイのような希少な鳥類、渡り鳥など鳥類の重要な生息地になっている。そのため、ゾーニングを行うなどして鳥類に配慮した事業を計画、実施することが望まれる。

観察した行動：著者が麓に向かって自動車で行っていた際に、道路わきから山頂方向に飛び立つ姿を確認した。本個体は30mほど離れた落葉広葉樹の横枝の上にとまり、しばらくこちらの様子を伺っていたが(図

\*福井市自然史博物館 〒918-8006 福井市足羽上町147

\*Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui City, Fukui 918-8006, Japan



図1. 足羽山藤島神社周辺で観察されたミゾゴイ (白丸内).

Fig.1. Observed Japanese Night Heron around Fujishima Shrine in Mt. Asuwa, Fukui city

1), ほどなくして北方向へ飛翔し, 枝葉にまぎれて見えなくなった。

福井市自然史博物館の梅村信哉学芸員には原稿に対して有益なご指摘をいただいた。ここに記して感謝申し上げます。

#### 引用文献

- BirdLife International, 2016, *Gorsachius goisagi*. The IUCN Red List of Threatened Species 2016: e. T22697237A93604011. <http://dx.doi.org/10.2305/IUCN.UK.2016-3.RLTS.T22697237A93604011.En>. (参照日2019年12月22日).
- 出口翔大, 2018, 足羽三山における鳥類群集の季節変化(2018年). 福井市自然史博物館研究報告, (65), 47-56.
- 福井県, 2016, 改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物種. 福井県, 536p.
- 環境省, 2014, レッドデータブック2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-2 鳥類. ぎょうせい, 250p.
- 環境省, 2016, ミゾゴイの保護の進め方(案). <https://www.env.go.jp/press/files/jp/102373.pdf> (参照日2019年12月22日)
- 川名国男, 2012, ミゾゴイ~その生態と習性~, ジャパンプリント, p165.
- 中村登流・中村雅彦, 1995, 原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>. 保育社, 304p.

叶内拓哉・安部直哉・上田秀雄, 1998, 山溪ハンディ図鑑 7 日本の野鳥. 山と溪谷社, 623p.

真木広造・大西敏一, 2000, 日本の野鳥590. 平凡社, 654p.

日本鳥学会, 2012, 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会, 438p.

内山正彦, 1990, 福井市足羽山の鳥類について. 福井市立郷土自然科学博物館研究報告, (37), 81-90.

柳町邦光, 2006, 足羽山鳥獣保護区の鳥類相について. 福井市自然史博物館研究報告, (53), 67-72.

柳町邦光, 2014, 2013年の足羽山自然公園における鳥類相. 福井市自然史博物館研究報告, (61), 29-41.

#### Abstract

A individual of Japanese Night Heron *Gorsachius goisagi* was observed on the road around Fujishima shrine in Mt. Asuwa, Fukui city at six four in the evening on 25 April, 2019. Japanese Night Heron have never been observed there, and then this is the first record of Japanese Night Heron in Mt. Asuwa.

#### key words

April, deciduous broad-leaved forest, endangered species, Fujishima shrine, migratory bird.